



白井市土地利用図

## 白井市土地利用図

作成者：中條竜太，作成補助者：真山・柿本・鈴木

資料：“Google earth”，インターネットの2008年版の航空写真。この写真の撮影は、諸所の画像から2005年頃と推定した。

土地利用図は、各種形態の土地がどこにどれだけあるかを地図上に示してものである。従って、その時々地域の土地の利用状況が一目で分かる。このような土地利用図を10年から20年ごとに作っておくと、歴史的な土地利用の変遷が読み取れる。それは、統計による数字では読み取れない貴重なものである。これと同じものは、役所の土地台帳からでもできるが、膨大なデータの付け合せで費用と時間がかかる。

土地利用図の作成は直近の航空写真によることと、現地踏査が望ましい。また、利用航空写真と作図は永く保管するのは通常である。今回は諸般の事情により、インターネットの“Google earth”を用いた。できるだけ早期に航空写真を使い、詳細な植生図を中心とする土地利用図を作成することを望みたい。

このたび、白井市の生物生息調査を行ない、その結果を「白井市生物多様性調査報告書」として刊行することになった。土地利用図が抜けていたので加えることにした。生物の生息環境を明らかにするには、土地利用図の中で、「植生」を詳細に記す必要がある。即ち、樹林地はどのような樹種が優占するのか、草原の種類、果樹園は樹種、調整池を含む湖沼などの区別が必要となろう。本図では彩色のないところは、住宅地や工業地で人が密に利用している場所である。

ここでは、各種利用状況が図示されており、その大きさはおおよそ分かる。各状況を数量的に示すのが、統計表であり、その一部を示して一層の理解の一助にしたい。資料は「統計しろい平成19年版」を利用した。

表1 白井市地目別土地面積（単位：千㎡）

	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成12年	35,410	4,180	9,653	5,874	150	6,677	153	4,633	4,090
平成15年	35,410	4,089	9,419	6,133	150	6,359	148	5,051	4,061
平成19年	35,410	3,961	9,539	6,711	202	5,644	170	5,272	3,911

注：単位の千㎡は上の表では千の位がkm<sup>2</sup>に相当する。例えば総面積は35.41 km<sup>2</sup>となる。

・地目は所有者が役所に届け出たままなので、現状とは異なる状況がある。

表2 経営耕地面積別と収穫面積（栽培）面積別表の比較

経営耕地種別面積（単位：a）

	総面積	田	畑	果樹園	他果樹園
平成12年	86,866	26,917	22,808	37,021,A	120
平成17年	79,796	24,699	20,223	-	34,874,B

主要農産物別収穫（栽培）面積（単位：a）

	総面積	田	畑	果樹園	他果樹園
平成12年	C	17,996	D	32,056,E	F
平成17年	C	18,944	D	30,772,E	F

注A：梨園を含む果樹園面積。B：梨園を含む果樹園の総計。C：給面積は集計しにくいので出ていない。

D：畑は輪作があるので記録はない。E：別箇所にある梨園の面積、平成12年では、果樹園の約85%を占める。F：収穫（栽培）の統計には掲載がない。

編集担当 山崎秀雄 記